

# 東堂陽一

## 議会便り 第8号 (2-1)

市内①  
桜木①

平成17年 8月 9日発行

皆様のご支援のおかげで無事再選を果たす事が出来ました。お礼を申し上げますがおそくなりましたが、この紙面を借りて感謝の意を表したいと思っております。皆様のご声援に応えるべく、そしてまた、新掛川市の発展のために力を尽くしてまいりたいと、決意を新たにしているところです。今後も今まで同様、ご助言、ご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

### I. 5月臨時会(5月17日、18日)

新市最初の、そして選挙後最初の議会が開催され、議長、副議長をはじめとする議会人事を行いました。旧1市2町の条例は合併に伴い失効したため、新掛川市の条例として新たに207本を審議し、制定いたしました。また下記の特別委員会を設置する事も決定しました。

- ① 南北幹線道路網調査検討特別委員会
- ② 新市立総合病院問題特別委員会
- ③ 子育て支援・少子化対策特別委員会

私はこの一年間文教厚生委員会と子育て支援・少子化対策特別委員会に所属することになりました。少子化対策はこれからの最大の社会問題のひとつであり、私も設置を希望した委員会です。より良い提言をしてまいりたく、皆様のご意見もお聞かせ願えればと考えています。

この臨時会で予想されていた注目の助役、収入役人事は行われず、波乱含みの出発となりました。

新掛川市の議会も党派制で運営されていますが、議員定数30名で、4つの党派が結成されました。その内訳は次の様です。

党派名	旧掛川市	旧大東町	旧大須賀町	小計
親和会	14名	7名	2名	23名
みどりの会	4名			4名
日本共産党議員団	2名			2名
かけがわ21	1名			1名
小計	21名	7名	2名	30名

### II. 6月定例会(6月7日～30日)

冒頭行われた施政方針演説で次の4点が戸塚市長の考えとして表明されました。

- ① 新掛川市を福祉都市として発展させたい
- ② 合併協議会の約束を忠実に守る
- ③ 健全財政を貫く
- ④ 小笠3市の再合併

どれも方針としては異論はほとんどありませんが、具体性、手順、解釈等には疑問もあり、一般質問等で市長の見解を質しましたが、十分な回答は得られませんでした。これからも市長の施策を注意深く見てまいりたいと思っております。

5月臨時会では提案されなかった人事案件の採決を行った結果、助役には前大東町長の大倉氏が選任されましたが、市長提案の収入役人事は否決され、未だに空席のままです。三役人事は議会でも大きな関心をもって議論されましたが、採決にあたっては退席者が続出することが予想され、議場の混乱を防ぐ為は無記名投票が提案されました。

助役人事でも多くの反対票がありましたが、その理由は大倉氏が新市では一切の役職に就かないと言明していたこと、あるいは市長選挙との整合性、年齢健康状態等を不安視されてのものです。収入役の否決は、市長との親戚関係、行政経験が無い事、選挙の論功行賞ではないかということが疑問視されての結果だと分析しています。

この他にも名誉市民条例が議決され、榛村前掛川市長を第1号として推薦することを決しました。

各種予算案に対する審議も行われ、当局案通りに可決がされました。主要なものの一部を下記に示します。

合併推進道路整備(合併関連)	229,501 (単位千円)
公共施設間ネットワーク整備(合併関連)	82,721
大東図書館建設(合併関連)	626,565
新幹線掛川駅舎バリアフリー	36,450
乳幼児医療費助成	245,200
市営住宅原谷第2団地建替え	349,826
西中体育館建替え	369,342
西郷小学童保育所整備	7,342

◆裏面もあります◆

東堂陽一

## 議会便り 第8号 (2-1)

平成17年 8月 9日発行

### Ⅲ. 戸塚新市長の発言、言動 (各種新聞、記者会見、議会等にて)

- ① **市長歳費20%カット、助役、収入役、教育長は5%カットしたい。**  
報酬審議会では殆ど否定の答申がでた。これは異例の出来事だったが、市長歳費については選挙公約でもあり、特別条例を作り認めることとした。
- ② **市長専用車の廃止**  
一見経費節減にもなり、市民感情にもあった良いことであるという印象を与えますが実際はどうでしょうか？ 議会での私の一般質問の中で、4年間で4,000万円近くの経費削減になる。そのうち約7割が人件費であるという市長答弁がありました。実際に運転手等を解雇することは出来ておらず、逆に市長が公務等で外出するときには、関係部署の職員の車に同乗して送り迎えさせるということで当該職員にとっては仕事が細切れになったりする不具合も考えられます。安全管理上、日程管理上も問題ありだと思います。功罪どちらが大きいかわかりません。
- ③ **掛川市の市債残高900億円**  
これも誤解を招く発言です。資産がどれだけあるか、交付税措置されるものがどれだけあるか(約4割)、さらに市政への寄与に対する評価などとともに議論されるべきであり、片手落ちの感は否めません。
- ④ **はしご消防車の導入検討**  
かつてからの懸案事項でしたが、多額の資金が必要等などの理由でどうすべきか、議論がなかなか進展しなかったものですが、市長の突然の表明でした。はしご車の導入は必要ですが、検討は充分か心配なところで。
- ⑤ **観音様(慰霊碑)の移転、**
- ⑥ **こだわりっぱ、これしか処の名前の変更**
- ⑦ **突然の中国訪問(7月25日)**  
議会等への連絡なしの突然の訪問でした。  
例えば危機管理をどうするか等の問題を含んでいます。

これまでの市長の施政方針や各所での発言を見て感じる事は、掛川市をどのような市にするかというビジョンや全体像、またそれに対する具体性

も伴っていないという印象を受けています。

やろうとしていることは場当たりの、これまでの経緯や全体計画の中でどうあるべきかということをもう少し考慮する必要があると思います。独断専行ではなく、議会ともよく相談して、ベクトルの向きを合わせて進みたいものです。

### Ⅳ. これ以外の出来事

- ① **次世代育成支援行動計画が策定されました。**  
数値目標、計画期限等も明記されており評価すべき点が多い。  
計画通り実行できるように努力が求められます。
- ② **環境資源ギャラリー(新ごみ焼却場)の本稼働(9月5日より)**
- ③ **大河ドラマ館の設置**  
掛川城本丸広場に「功名が辻」の展示館が建設される予定です。
- ④ **ロロマロッジの売却決定、オレゴン生涯学習村の解散**
- ⑤ **クールビズ**  
掛川市議会、市役所でもクールビズ実行中です。
- ⑥ **県知事選挙**  
7月24日投院票の県知事選挙で新掛川市出身の石川氏が4選されました。  
今後のご活躍を期待しております。

### Ⅴ. 6月議会での私の一般質問通告要旨

1. 新市経営の理念について
  - ① 「福祉都市」とは何か
  - ② 生涯学習運動にどう取り組むか
2. 健全財政に関して
  - ① 掛川市の財政状況をどう判断するか
  - ② 積極財政か消極財政か
  - ③ 行政改革集中プランの構想は
  - ④ 市長の考える民間投資手法の導入方法
  - ⑤ 予算措置における優先順位の選択基準は明確か
  - ⑥ 市長専用車廃止の是非について
3. 少子高齢化対策
  - ① 広範で体系的な子育て支援体制の構築について
4. 読書教育について
  - ① 読書教育のあり方について
  - ② 図書館予算の減額について

以上について市長の見解を質しました。

◆裏面もあります◆